

資料ーオッカバケ川

河川環境調査総括表

河川名： オッカバケ川

調査年月日： 平成17年8月16日～18日（森林管理局） 平成17年9月26日～10月3日（北海道）

注1) 河川環境は、河口より高さ1mの天然の滝（魚止滝）までを整理した。

注2) 区間は、河川工作物、沢の分岐、魚止滝で区切っている（図面：河川工作物及び河川環境の状況の工作物No, データ区分点を参照）。

注3) プールは工作物等下流の水深、広がり縦×横。 注4) 落差とは工作物等の流水面からプール水面までの高さ。

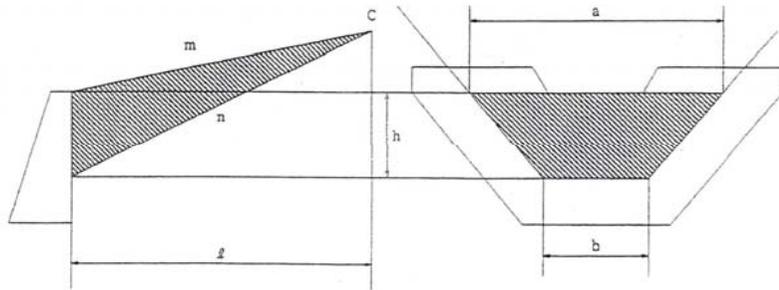
注5) 河床組成の①は礫なし、②は20cm以下の礫が主に混在、③は②以上の礫が主に混在、④は岩盤状を指しその占める割合を示す。

区間	区間長 (m)	工作物 等落差 (m)	工作物下流側の プール(m)	工作物 等越流 水深(m)	水面幅 (m)	河川 水深 (m)	水温 (°C)	pH	河床組成 (%)	沈み石 (%)	河川形 態(可児 式)	スギゴ ケの有 無	濁水の 流入の 有無	河畔林 (%)	枝沢の 数	魚影を確認し た魚種
河口～1(北海道)	358				12	0.4	12.8	7.5	②40③60	0	Aa	無	有(水産 加工場)	50	0	カラフトマス
1(北海道)～1(森管局)	406	0.12	1.72, 5.0*5.0	0.1	10	0.4	12.8		②30③70	0	Aa	無	無	100	0	カラフトマス
1(森管局)～2(森管局)	248	4.70	0.95, 5.0*16.0	0.07	6	0.3	13.5	8.0	③100	0	Aa	有	無	100	0	オショロコマ
2(森管局)～B	2,250	4.32	0.45, 3.0*10.0	0.07	5	0.3	14.0	8.0	③100	0	Aa	有	無	100	1	オショロコマ

推定貯砂量計算式

$$V = \frac{1}{6} \cdot \frac{h^2}{n-m} \cdot (a+b+c) \cdot \alpha$$

- V : 推定貯砂量 c : 堆砂区域末端の溪床幅
 h : 治山ダム有効高 α : 割増係数 (ポケットの状態で1.0~1.5)
 a : 放水路部の有効幅 ℓ : 堆砂区域長
 b : 溪床部有効幅 n : 現溪床勾配 m : 計画勾配



オッカバケ川				
因子		北海道ダム		計
		No1	No2	
放水路部有効幅 (m)	a	50	60	
溪床部有効幅 (m)	b	46	42	
堆砂区域末端の溪床幅 (m)	c	14	30	
ダム設置前の溪床勾配	n	0.034	0.047	
堆砂勾配	m	0.02	0.018	
ダム有効高 (m)	h	3	4	
割増係数	α	1	1	
貯砂量 (m³)	V	11,786	12,138	37,850
控除分 (副断面)				
放水路部有効幅 (m)	a	11		
溪床部有効幅 (m)	b	5		
堆砂区域末端の溪床幅 (m)	c	0		
ダム設置前の溪床勾配	n	0.047		
堆砂勾配	m	0.02		
ダム有効高 (m)	h	3		
割増係数	α	1		
控除分貯砂量 (m³)	V	-889		
貯砂量 (m³)	V	10,897		